

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 30 日

評価対象事業	文観	-	29	伝統鎌倉彫振興事業				☐ 法定受託事務
所管課	文化観光部 産業課				評価者	産業課長 角田 如生		
一般	会計	款	35	項	5	目	10	
総合計画上の位置付け	分野名	産業振興			施策の方針名	商工業振興の充実		

1 事業の目的

対象	伝統鎌倉彫事業協同組合	意図	伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る
効果	鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図る		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 (事業終了予定年度： 年度) ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・ 伝統鎌倉彫事業協同組合に対する支援 ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理	・ 伝統鎌倉彫事業協同組合に対する支援 ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理	・ 伝統鎌倉彫事業協同組合に対する支援 ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理
予算額（千円）	9,405	9,634	
国県支出金			
地方債			
その他	992	967	
一般財源	8,413	8,667	0
当初人員配置数	0.3	0.7	0.0
人件費（千円）	2,561	6,178	0
事業実績	・ 伝統鎌倉彫事業協同組合に対する支援 ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理		
決算額（千円）	7,544		
国県支出金			
地方債			
その他	1,435		
一般財源	6,109	0	0
人員配置実績数	0.3	0.0	0.0
人件費（千円）	2,485	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7 (上段実績、下段経費（千円）)	R8	R9
活1	指標名	鎌倉彫振興の取組に対する支援金	千円	3,341	⇒	3,212		
	実績につながる活動	伝統鎌倉彫振興事業協同組合に対する支援				3,212		
活2	指標名	鎌倉彫制作体験の参加者数	人	521	↗	1,041		
	実績につながる活動	鎌倉彫振興事業所（体験希望者の付添指導）及び鎌倉彫会館（2時間体験教室）での制作体験				3,212		
活3	指標名	鎌倉彫リーフレットの発行数	枚	0	⇒	26,000		
	実績につながる活動	鎌倉彫を紹介するリーフレットの作成				488		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	特になし
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	鎌倉彫体験者数では、鎌倉彫会館において、令和6年度は体験数に制限を設けていたが、令和7年度は制限を設けず実施したことにより増加となった。また、鎌倉彫のリーフレットの発行枚数では、東アジア文化都市事業に絡め、既存の日本語と英語のみではなく、中国語と韓国語の制作をしたことにより、発行部数が伸び、国内だけではなく、国外でも鎌倉彫を広く周知することが出来た。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No (最大3つ)
成1	伝統鎌倉彫事業協同組合組合員数	者	41	↗	41			1 2 3

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	特になし
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	伝統鎌倉彫事業協同組合組合員である41事業者に入れ替わりもなく、現状維持となった。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	活動指標に大きな変化がないことから成果指標は維持となっている。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☒ 十分に出ている	☐ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない

		評価実施年度の方向性	⇒	評価実施翌年度以降の方向性	
方向性	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☐ 予算規模は現状維持 ☒ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☐ ① 予算規模は現状維持とする ☒ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容		
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし			
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった			
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし			
	総評	新たな課題として認識するものはなかったが、引き続き出荷額の減少や後継者育成等の課題解決に向けた取組を行い、本市唯一の伝統的工芸品である鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図る必要がある。			上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	伝統的工芸品産業への補助								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○				○				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	神奈川県内で国に指定されている伝統的工芸品は3品目（鎌倉彫・小田原漆器・箱根寄木細工）のみであり、その高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図ることは、市の責務である。
----------------------	---